

議会改革検討委員会報告書

平成 23 年 8 月
岩手県 遠野市議会
議会改革検討委員会

1 はじめに

わが国の地方議会は首長（市長）と議員それぞれが住民の直接選挙で選ばれる二元代表制を採用しています。つまり市長と議会はそれぞれが住民の代表であり対等な立場です。市長と議会はある種の緊張関係を維持しながら、「住民福祉の向上」という共通の目的達成のために、市政をより良い方向に導いていくことが求められています。このことから分かるとおり、主役はあくまで「住民」であり、私たち議会も住民の声を市政に反映させるために努力しなければなりません。加えて平成 12 年 4 月 1 日、国と地方の対等原則を盛り込んだ「地方分権一括法」が施行され、地方議会の果たす役割は大きく広がり、その責任はさらに増すこととなりました。

このようなことから、今こそ遠野市議会議員として自らの立場を再検証し、一層住民の負託に応えるための議会体制づくりを進めていかななくてはならないと考えます。

2 現状の問題点

- (1) 行政機関に対し、監視機能は果たされているか？
- (2) 「地方分権」「地域主権」「住民自治」は確立できているか？
- (3) 日常的な議員活動が住民に周知されているか？
- (4) 行政に対する住民の要望等を十分把握できているか？
- (5) 議員定数、報酬は適正か？
- (6) 二元代表制の機能は十分発揮されているか？

3 今後の進むべき方向（検討結果）

更なる議会機能強化を図るため、議会改革特別委員会を設置する

4 検討結果に至るまでの経過

平成 22 年 11 月 9 日（火）新田議長が議長就任挨拶で議会改革に取り組むことを表明

平成 22 年 11 月 22 日（月）正副議長及び各常任委員長会議で議会改革取組みの課題協議

平成 22 年 11 月 29 日（月）議員全員協議会で協議

平成 22 年 12 月 10 日（金）議員全員協議会で協議

平成 23 年 1 月 25 日（火）議会運営委員会で陸前高田市議会研修

平成 23 年 2 月 8 日（火）会派代表者会議（議会改革検討委員会設置合意）

平成 23 年 2 月 14 日（月）議員全員協議会で会派代表者会議内容報告協議

平成 23 年 2 月 22 日（火）議会運営委員会で議会改革検討委員会の組織体制決定

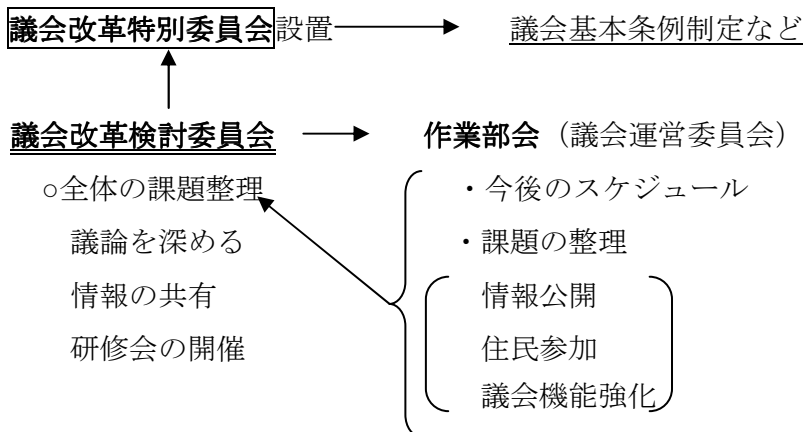
平成 23 年 3 月 10 日（木）議員全員協議会で議会改革検討委員会の組織体制決定

委員長：菊池邦夫議員 副委員長：照井文雄議員

事務局：荒川栄悦議員、萩野幸弘議員

- 平成23年 3月11日（金）東日本大震災発生
- 平成23年 5月10日（火）議会運営委員会（検討委員会作業部会）で今後のスケジュール協議（一般質問のあり方、議会報告会を先行することを決定）6月定例会後、毎週月曜日10時から作業部会開催を決定
- 平成23年 5月24日（火）議員全員協議会で議会改革の今後のスケジュール報告
- 平成23年 6月13日（月）議会運営委員会（検討委員会作業部会）で一般質問のあり方（一問一答方式の導入）を協議
- 平成23年 6月20日（月）議会運営委員会（検討委員会作業部会）で一般質問への一問一答方式の導入について、議会報告会について協議
- 平成23年 6月27日（月）議会改革に必要な要素を自由討議。議会改革検討委員の位置づけ、今後のスケジュール協議
- 平成23年 7月 4日（月）議会運営委員会（検討委員会作業部会）で今後のスケジュールの確認と議会改革のフローチャート検討協議
- 平成23年 7月11日（月）議会改革検討委員会でこれまでの取り組み経過報告。議会改革検討委員会組織体制の再確認と、9月議会での議会改革特別委員会設置を目標とした今後の日程を協議
- 平成23年 7月19日（火）議会運営委員会（検討委員会作業部会）で議会改革検討委員会研修会について、検討委員会の報告書作成について協議
- 平成23年 7月22日（金）議会改革検討委員会研修会で花巻市議会より佐藤忠男議員を講師にお招きし、花巻市議会基本条例制定の経過を研修
- 平成23年 8月 1日（月）議会運営委員会（検討委員会作業部会）で報告書案の内容協議
- 平成23年 8月 8日（月）議会改革検討委員会で報告書案の内容協議

5 議会改革検討委員会の位置づけと今後の進むべき方向のあり方



6 議会運営委員会（作業部会）の開催状況と協議内容

回	期 日	協 議 内 容
1	平成 23 年 5 月 10 日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて（6 月定例会後毎週月曜日 10 時から作業部会を開催する） ・出来ることから始めることとし、一般質問の方法と議会報告会開催を当面の目標とした。
2	平成 23 年 6 月 13 日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問への一問一答方式の導入について（質問時間は従前どおり 45 分間とし、質問方法は総括及び一問一答のどちらかを選択できる案をまとめる） ・質問席のあり方について（当局に向かって質問できるように位置と向きを改め、当局は自席答弁としてはどうか） ・質問内容の重複について（会派内は調整し、それ以外は重複もやむを得ないのではないかと） ・議場内の時計の位置について（遠野 TV カメラの横に設置されているため、カメラ視線のように映ることから位置を変更してはどうか）
3	平成 23 年 6 月 20 日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問への一問一答方式の導入について（県議会のやり方を確認する必要性と議会の品位保持について協議） ・議会報告会について（事前にテーマを決め、班別 6 ～ 7 名程度で 3 か所に割り振り実施してはどうか。收拾がつかなくなる恐れがあるのではないかと）
4	平成 23 年 6 月 27 日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問への一問一答方式の導入について（県議会会議録 2 名分を検証） ・議会報告会について（自由討議） ・全協で改革の全体像を示す必要性について（全議員の意識の共有化を図ることが先決。検討委員は議長を除く全議員であり、議運は作業部会である）
5	平成 23 年 7 月 4 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて（9 月定例会時に議会改革特別委員会の設置を目指し、詳細は特別委員会で検討することを確認） ・全体研修会の開催について（花巻市議会に講師派遣を依頼し 7 月 25 日もしくは 8 月 8 日に開催する）
6	平成 23 年 7 月 19 日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革検討委員会研修会について（講師の都合により、平成 23 年 7 月 22 日（金）午後 1 時 30 分より宮守総合支所第 2 会議室で開催する）
7	平成 23 年 8 月 1 日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革検討委員会の報告書について（事務局で作成した原案の内容を協議） ・9 月定例会時における議会改革特別委員会設置に向けた発議案の詳細について、事前に作業部会で原案を作成することを確認

7 議会改革検討委員会の開催状況と協議内容

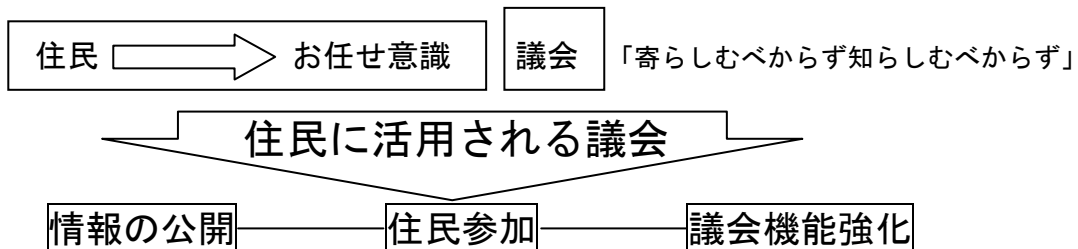
回	期 日	協 議 内 容
1	平成 23 年 7 月 11 日 (月)	<ul style="list-style-type: none">・ 議会改革検討委員会の位置づけについて（議会改革検討委員会の位置づけをフローチャートにより再確認し、作業部会の活動経過報告を行う）・ 今後の日程について（7 月 22 日（金）臨時議会）
2	平成 23 年 7 月 22 日 (金)	<ul style="list-style-type: none">・ 研修会実施（花巻市議会議員佐藤忠男氏を講師にお招きし、花巻市議会基本条例制定の経過を研修）
3	平成 23 年 8 月 8 日 (月)	<ul style="list-style-type: none">・ 議会改革検討委員会の報告書について（議会改革検討委員会として、議会改革特別委員会を設置するという検討結果に至るまでの経過等をまとめた報告書の原案について、内容を協議）

8 議会改革に必要な要素

議員が常に住民の身近にいること

(1) 開かれた議会

首長と議会が自治体の意思を公式に決めることができるのは、選挙を通じて民意の審判を受け、代表者であるとみなされるからである。



(3要素は密接に関係しており、どれか1つの要素の重要性が突出しているわけではない)

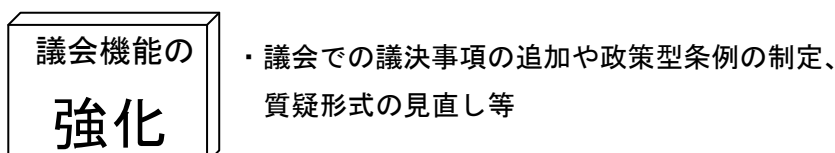
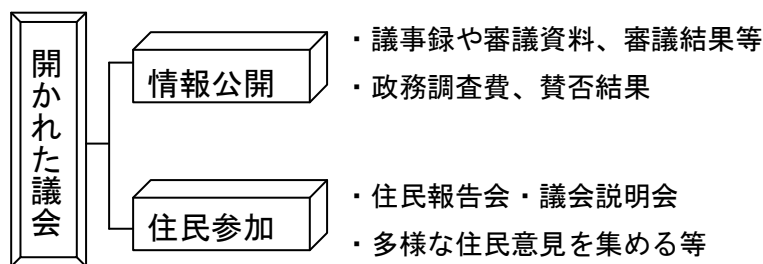
開かれた議会を目指して、議会基本条例を制定する事例が見られるが、条例を制定しただけでは、開かれた議会とは言えない

(2) 地方議会の主な役割

- | | |
|---------------|---------------|
| ①政策や条例・予算の決定者 | ②執行活動、首長への監視者 |
| ③政策や条例の提案者 | ④有権者への争点の提起者 |

(3) 改革のポイント

- | | |
|-------------|-------------|
| ①立法・政策能力の向上 | ②自立性の確立 |
| ③スタッフの充実 | ④監視・統制機能の強化 |
| ⑤開かれた議会づくり | |



議会機能の強化は「開かれた議会」と同次元で使われるものではなく、実現された結果、多様な住民の意見を纏め上げ、それを政策として実現する必要性が生じ、求められる施策が「議会機能の強化」である。

【議会改革検討委員会委員】

区 分	氏 名	備 考
委 員 長	菊 池 邦 夫	
副委員長	照 井 文 雄	
委 員	萩 野 幸 弘	
委 員	瀧 本 孝 一	
委 員	多 田 勉	
委 員	菊 池 由紀夫	
委 員	佐々木 大三郎	
委 員	菊 池 巳喜男	
委 員	荒 川 栄 悦	
委 員	菊 池 充	
委 員	瀧 澤 征 幸	
委 員	小 松 大 成	
委 員	織 笠 孝 之	
委 員	菊 池 民 彌	
委 員	佐々木 讓	
委 員	多 田 誠 一	
委 員	安 部 重 幸	
委 員	石 橋 達 八	
委 員	浅 沼 幸 雄	副議長

【議会改革検討委員会作業部会】

区 分	氏 名	備 考
委 員 長	菊 池 邦 夫	
副 委 員 長	照 井 文 雄	
事 務 局 長	荒 川 栄 悦	
事 務 局 次 長	萩 野 幸 弘	
委 員	菊 池 由 紀 夫	
委 員	安 部 重 幸	
委 員	石 橋 達 八	
委 員	浅 沼 幸 雄	副議長

【オブザーバー】

区 分	氏 名	備 考
議 長	新 田 勝 見	
議会事務局	宮 田 実	事務局長
議会事務局	伊 藤 慎	主査